

一般質問

議員10人から一般質問12件

一般質問とは？

町で行なっている事業の現況や将来の方針に関して、町長や教育長に問題点を質問したり、政策を提言したりします。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたります。

なお、今定例会では、「みずほまる」を応援するため、胸と襟下にイメージをあしらった特製ポロシャツを着用し、本会議に臨みました。



小川 龍美 議員（公明党）

不登校児童生徒への支援について問う

教育長 適応指導教室に通えない児童・生徒への支援に努力する



質問 不登校児童生徒は、全国的に増加の一途をたどり高水準で推移している。文部科学省は元年10月の通知で、支援については学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、既存の学校教育になじめない児童生徒については、教育支援センターや不登校特例校、ICTを活用した学習支援、フリースクールでの受け入れなど、さまざまな関係機関などを活用し社会的自立への支援を行うことを求めている。町の対応について伺う。

教育長 町では中学校の不登校出現率が4.5%台と国や都よりも常に高い数値で推移している。教育委員会で、国の不登校児童生徒の多様な教育機会の確保の方針に基づき、適応指導教室指導員の学校派遣による別室指導、オンライン授業や相談員による家庭訪問などを充実させた。また、長期欠席児童生徒への支援シートを作成し、学校が年間を通じてチェックし、支援計画、実績を評価できるようにした。今後も適応指導教室に通えない児童・生徒に対しても支援が行き届くように努力を重ねていく。



適応指導教室「いぶき」

大坪 国広 議員（日本共産党）

特別障害者手当について



町長 申請手続きが円滑にできるように支援を継続する

質問 この手当は、著しく重い障がいがあり、日常生活で常時、特別の介護が必要な状態にある在宅の20歳以上の方に支給される国の制度である。また、要介護4・5の方でも申請ができ、要件を満たせば支給される。しかし、この公的制度自体を多くの方が知り得ず、受給漏れも多い。次の点について、町長の所見を伺う。

問① 申請要件と現在の手当受給者数は、**町長** 申請要件は、重度の障がい重複している、もしくはそれと同等の疾病のある方となっている。手当を受給されている方の人数は、3年7月末現在で45名である。

問② 在宅の要介護の方への周知・申請を積極的に働きかけるべきと思うが、**町長** 要介護4・5の方への周知や申請への働きかけについては、今後は重度の要介護状態にある在宅高齢者への働きかけが重要であり、新たな手法も必要と考える。個人の状況を判断し、家族に対する周知を含め、申請手続きが円滑にできるような支援を継続していく。

こんな質問もありました
オスプレイの横田追加配備撤回を求めるべき
町長 地方自治体が賛否を唱える立場にはないが、住民の安全と良好な生活環境の確保を求めている。

問① 申請要件と現在の手当受給者数は、**町長** 申請要件は、重度の障がい重複している、もしくはそれと同等の疾病のある方となっている。手当を受給されている方の人数は、3年7月末現在で45名である。



森 亘 議員（自民誠和会）

アフターコロナを見据えたまちづくりを

町長 デジタルトランスフォーメーションが重要



質問 町では3年度から新たに策定された長期総合計画に沿ってまちづくりを進めていくものと認識している。しかし、アフターコロナについて未知の段階での策定作業であったため、今後、計画推進

には柔軟性が求められると考える。そこで、**問③** 自治会・ボランティア活動の状況と対応は。
町長 どの団体も活動に苦慮している。しかし、ホームページを立ち上げた町内会が現れた。また、ボランティア団体もオンラインを通して活動を再開した。
問④ 学校・地域・家庭の連携の状況と今後の対応は。
町長 新たな通信媒体を活用した活動の展開を進めたい。



中小企業が集積する工業地域